

歴史書・人文書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2026 年 9 月下旬刊行

柳田國男

—「国体」のための「日本民俗学」—

岩田重則 著

A5判・ソフトカバー・464ページ 本体価格 5,400円

柳田國男の「日本民俗学」とは、いったい何だったのか？

それは庶民や地域のための学問ではなく、それらを天皇が統治権者である大日本帝国の「国体」に癒着させる言説であった。「柳田民俗学」の本質を析出する異色の評伝。

(目次)

はじめに

第Ⅰ章 大日本帝国の官僚

第Ⅱ章 「日本民俗学」の原型

第Ⅲ章 官僚の「日本民俗学」

第Ⅳ章 拡大期大新聞記者の世相解説と「日本民俗学」

第Ⅴ章 柳田「日本民俗学」の完成

第Ⅵ章 柳田「日本民俗学」の准国家神道

むすび

〈著者紹介〉岩田重則（いわた しげのり）：1961 年生まれ、中央大学総合政策学部教授。歴史学／民俗学専攻。

～版元から～ 柳田國男の「日本民俗学」は一般的に、名もなき庶民（常民）に寄り添い、その生活や精神、地域の個性を明らかにした学問のように言われます。しかし、彼が実際に興味を持っていたのは日本国家そのものと日本人全体、そして天皇を中心とする「国体」であり、実証性の乏しい論理を通してそれらの「美質」を見出したと独善的に主張し、日本国家の安寧のために国民を統合していく事を志向するものでした。さらに戦時下では「戦死の精神」肯定にまで到達しながら、敗戦後は一転して新しい民主的な社会科教育の必要性を唱えていきます。本書は、柳田の作品を初出段階から読み直し、彼の「日本民俗学」が持つ問題性を鋭く析出していく異色の評伝です。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	柳田國男 —「国体」のための「日本民俗学」— 岩田重則 著 A5 判・ソフトカバー、464 ページ 本体価格 5,400 円	民俗学・日本史 (近代・現代)
	ご担当	新刊 ISBN 978-4-908672-92-7 C1021	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永淹 了解」として返品下さい。
	様		

ご注文は (株) JRC へ

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230

返品条件付注文です。